※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０５

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「図説家庭基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・まだまだ先のことのようですが、いずれ社会に出ていきます。社会に出るということは、「自分の生活を自分で創り出す」ことをしなければいけません。そのためには、頭で考えたり、体で感じたりすることがとても大切です。視点を過去ではなく今と未来におき、この先に訪れる「自立」に向けて、学んでいきましょう。
・学習はプリントを使用して進めていきます。ファイルは学校で準備しますので、教科書を持ってきてください。
・年間の授業のうち８０％は実習になります。授業内で終われるように授業に参加してください。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関りについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章　自分らしい生き方と家族	1 節　生涯発達する人生	a:各ライフステージの発達課題について理解し，それぞれの発達段階で起こり得るライフイベントと関連させて理解することができる。 B,C: 30 歳の自分に向けたメッセージを書くことで，自分のライフコースを考えることができる。	プリント	プリント	プリント
		2 節　これからの人生をデザインする	a:生活設計と生活資源の重要性について理解できる。 b:自分の適性について考えることができる。	プリント	プリント	プリント
		3 節　青年期を生きる	a:４つの自立について理解し，自分らしさは一人ひとり異なることを理解できる。 B,c:自分自身の生活を見つめ，自立へむけて課題を発見し，将来の発達課題ともかかわらせ自身の将来について思考・判断することができる。 自己分析をして，自分らしい生き方について考えられる。	プリント	プリント	プリント
		4 節　生活を支える労働	a:職業労働の雇用形態について理解し，職業には自己実現の要素もあることが理解できる。 家事労働の意義や大切さについて理解できる。 b,c: 家事労働について話合うことで，現在の自分について理解し，他者の意見を聞き，課題が見つかれば改善することを考えられる、表現できる。 職業について，近い将来のことという意識をもって，積極的に学習に臨んでいる。	プリント	プリント 発表	プリント 発表
		5 節　生活時間から見えてくるもの	a:毎日がさまざまな生活時間から構成されていることを理解できる。 b,c:現在の生活時間の状況をふまえ，生活時間と労働との関係について考えることができる。	プリント	プリント	プリント ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		7 節　現代の家族	a:結婚，家族・家庭の形，家族・家庭の役割について理解している。 b, c:自分にとっての家族について考えられる。人により家族と思う範囲や家族形態が異なることについてわかろうとしている。将来の自分がつくる家族について考えようとしている。	プリント	プリント ワークシート	プリント
		9 節　家族に関する法律の理念と変化 10 節　家族にかかわる法律	a:・家族の法律の理念が理解できる。民法改正について理解できる。また、知識を身につけている。 b, c:法律と自分のかかわりについて理解し，成年年齢の変更や理由，権利と責任などについて，考えようとしている。	プリント	プリント	プリント
	第８章　経済的に自立する	1 節　日々の収入･支出を把握する	a:家計の構成がわかる。収入と支出の種類と特徴がわかる。	プリント		
		2 節　社会と家計の変化	a:近年の家計の特徴について理解できる。家計調査年報のグラフや給与明細などから，家計における収支バランスなどが理解できる。 b, c:給与の使い方をシミュレーションし，思考することができる。	プリント	プリント ワークシート	プリント ワークシート
		3節　長期的な経済計画を立てる	a:経済的な自立に向けて，長期的な経済設計が立てられるようになる。保険や金融商品などの種類や特徴について知識が身についている。 b, c:人生すごろくでシミュレーションし，ライフイベントや生活のリスクについて思考することができる	プリント	プリント ワークシート	プリント ワークシート
	第６章　衣生活をつくる	3 節　衣服素材の種類と特徴 4 節　衣服素材の性能と改善	a:・衣服素材の保湿性や通気性などのさまざまな特徴を知り，どのような素材がどのような性質を持つのかわかる。 繊維の改質や加工により付加価値がつき，現在の私たちの衣生活に浸透していることが理解できる。	プリント		

※令和４年度以降入学生用

		6 節　衣服の管理 7 節　家庭での洗濯･保管	a:湿式洗濯・乾式洗濯などの洗濯の種類や，洗剤のはたらきについて理解できる。 すでに学んだ衣服の表示の見方，洗濯の表示の知識を活かし，適切な洗濯や手入れができる。 衣服材料・衣服管理・整理についての基礎的な知識を身につけ，衣服管理において適切な判断ができる。	プリント		
		被服実習	a:手縫いに必要な知識を身につけ、どのようなときにどのような縫い方が適切か理解している。 b:作品をよりよくするために、知識と技術をどのように表現するかを思考し、判断して、作品に取り入れている。 c:意欲的に実習に参加し、作品をよりよくするために刺繍やステンシルなどの課題に取り組んでいる。	振り返りプリント	作品	作品
	第3章　高齢者とかかわる	1 節　高齢社会に生きる	a:現在の高齢社会，高齢化の進む社会について統計などより理解することができる。 ・人生経験のある高齢者とかかわりを持つことの意義を理解できる。			
		2 節　高齢者を知る	a:加齢に伴う心身の変化や特徴について理解し，その変化については個人差があることも理解できる。 ・高齢者にとって家族とはどのような存在なのか，高齢者の経済状況や社会参加状況などについて理解を深めることができる。 b, c:高齢期について自分と結びつけながら考えようとしている。	プリント	プリント	プリント
後期	第2章　子どもとかかわる	1 節　子どもの誕生	a:将来子どもを生む可能性のある今の 10 代の健康が，子どもの命にかかわっていることを理解する。 妊娠の成立から誕生までを理解することにより，その重要さを認識することができる。	プリント		
		2 節　からだの発達	a:誕生から幼児期までの子どものからだの発達について理解する。	プリント		

※令和４年度以降入学生用

		3 節　運動機能の発達と知的発達	a:子どものものの見方・感じ方には子ども独特の世界があることが理解できる。 運動機能の発達と知的発達について理解できる。	プリント		
		4 節　かかわりのなかの発達	a:人の発達において，保育や人とのかかわりがいかに重要であるかを理解できる。 子どもの発達について学び，社会性が育っていく過程などについて理解できる。 b, c:子どもの発達に対し，どのような関わり方がよいか考えようとしている。	プリント	プリント ワークシート	プリント ワークシート
		5 節　子どもの生活習慣と健康	a:発達段階に応じた子どもの基本的生活習慣や社会的生活習慣とその重要性について理解できる。 子どもの健康管理の必要性について理解できる。 子どもに発達と起きやすい事故の関係について理解できる。	プリント		
		6 節　子どもの食生活・衣生活	a:子どもの食生活・衣生活について理解できる。	プリント		
		7 節　子どもと遊び	a:遊びの意義と形態を理解し，遊びは子どもの発達にとって重要なものであることを理解する。 現代の遊びをめぐる問題についても理解することができる。	プリント		
		8節　親になることを考えよう	a:生命の尊さ，子育ての意義について理解することができる。 子どもの人間形成には，保育者やまわりの人とのかかわりが重要であることが理解できる。 b, c:自分の現在・将来と結びつけながら，考え，学習しようとしている。	プリント	プリント	プリント
	第５章　食生活をつくる	1節　私たちの食生活と健康	a:生活習慣病，摂食障害，月経異常などと食生活がかかわっていることを理解できる。 b, c:外食やコ食について理解を深めようとしている。 自分の現在の食生活を振り返り，課題を見つけ，改善にむけて積極的に取り組もうとしている。	プリント	プリント	プリント

※令和４年度以降入学生用

		2節　5 大栄養素 3 節　炭水化物 4 節　脂質 5 節　たんぱく質 6 節　ミネラル 7 節　ビタミン	a：5 大栄養素と水についての人のからだの中での働き，また，人のからだの成分についての基礎的知識を習得できる。 b, c：5 大栄養素それぞれの働き，5 大栄養素それぞれ多く含む食品の特徴についての基礎的知識を身につけることができる	プリント	プリント	プリント
		9 節　食品の選択と表示	a：調味料，香辛料，嗜好食品の種類と特徴について理解できる。 特別用途食品や保健機能食品等の種類と特徴，表示などについて理解できる。	プリント		
		10 節　食品の衛生	a：食中毒の種類や予防法等について学び，衛生的な調理や食事管理ができるようになる。 b, c：食品添加物の種類やその使用の目的について理解し，安全性についても考えることができる	プリント	プリント	プリント
		13 節　食事摂取基準	a：食事摂取基準を理解し，何をどれくらい食べるのかを理解することができ，実際にバランスのよい食事計画につなげることができる。	プリント		
		14節　食品群別摂取量のめやす	a：食品群別摂取量を理解し，何をどれくらい食べるのかを理解することができ，実際にバランスのよい食事計画につなげることができる。	プリント		
		15 節　献立作成	a：ライフステージと栄養の関係，献立作成時のポイントを理解できる。 b, c：食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを利用しながら，実際の生活において家族のライフステージも考えながら献立を作成することができる。	プリント	プリント ワークシート	プリント ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		16 節　調理の基本	a:栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身につけ，それを実際の食生活に生かすことができる。 調理に関する基本的な「切る」「炒める」「ゆでる」「焼く」などの調理技術を身につけ，実際に調理ができるようになる。 b, c 調理実習において，作業の流れを考え，効率について判断しながらとりくむことができる。 ・調理実習においては，積極的に参加しようとしている。後片付けまできちんと行っている。 ・食事マナーを身につけ，楽しく食事することができる。〃	テスト	調 理 実習および レポート	調理実習およびレポート
	第９章　消費行動を考える	1節　契約と主体的な消費行動	a:「契約」の基本的なしくみを理解できる。 自分たちが消費行動を日々行っている消費者であることを理解し，消費行動においては，都度意思決定が行われていることが理解できる。 情報リテラシーの大切さを理解できる。 b, c:生活情報を収集し，環境にも配慮した適切な消費行動を思考・判断できる。〃	プリント	プリント	プリント
		2節　多様化する販売方法と問題商法	a:多様化する販売方法の種類や内容について知識が身についている。 問題商法の種類や対処法について知識が身についている。 b, c:問題商法の被害を未然に防いだり，早期に解決するための方法について思考・判断ができる。	プリント	プリント	プリント
		3節　消費者を守る制度･法律	a:消費者契約法・特定商取引法などの法律，クーリング・オフ制度や製造物責任法など，消費生活にかかわる法律・制度を理解できる。	プリント		

※令和４年度以降入学生用

		４節　多様化する支払い方法	a:クレジットやローンなどの消費者信用を前提とした支払い方法のしくみを理解できる。 多重債務に陥らないために，計画的に支払うことの大切さがわかる。 b,c:返済方法や金利の違いによる差額を実際に計算し，結果から思考・判断できる。〃	プリント	プリント	プリント
		５節　消費者の権利と責任	a:消費者問題や消費者運動，消費関連の法律行政について理解できる。 消費者の権利と責任について理解できる。〃	プリント		
	第７章　住生活をつくる	１節　人と住まいのかかわり	a:住まいの機能や地域性豊かな住まいの文化を理解できる。 戦後の生活様式の変化や二つの起居様式について理解できる。 b,c:和室などの日本建築について理解し，さらに創造しようとする意欲がある。〃	プリント	プリント	プリント
		２節　平面計画からみた住空間	a:平面図が読み取れるようになる。 個人生活・家事労働・共同生活・生理衛生，それぞれの空間においての機能を理解できる。 b,c 空間に自分で適切な家具などの配置が決定できる。 不動産広告から正しい情報を読み取り，判断できる。	プリント	プリント	プリント
		３節　ライフステージと住まいの計画	a:すべての人にとって住みやすい住環境について理解できる。 b,c:住まいにおいて，バリアとなっている箇所を見つけるなど課題を見つけ，改善に向けて積極的に取り組もうとしている。 ライフステージに応じた住まいについて思考・判断することができる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度